

**製品名: TA2R9 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18586**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                     |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,ELISA   |
| 反応性    | ヒト、ラット、マウス                                       |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。            |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量  | 34kDa                                |

**抗原情報**

|              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| 遺伝子名         | TAS2R9                         |
| 別名           |                                |
| 遺伝子 ID       | 50835.0                        |
| SwissProt ID | Q9NYW1                         |
| 免疫原          | ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 90-170 |

**背景**

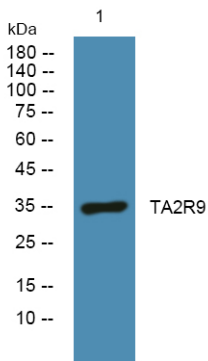
この遺伝子産物は、G タンパク質共役受容体スーパーファミリーに属する候補味覚受容体ファミリーに属します。これらのタンパク質は、舌および口蓋上皮の味覚受容体細胞に特異的に発現します。ゲノム中ではクラスター状に配列しており、マウスおよびヒトの

苦味知覚に影響を与える遺伝子座と遺伝的に連鎖しています。機能発現研究では、苦味物質に反応することが示されています。この遺伝子は、染色体 12p13 の味覚受容体遺伝子クラスターにマッピングされています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 口腔および消化管における苦味物質の知覚に関与するガストデューシン共役受容体。PLCB2 およびカルシウム調節性陽イオンチャネル TRPM5 を介したシグナル。、その他: 1 つの味覚受容体細胞に複数の苦味受容体が発現している。、類似性: G タンパク質共役受容体 T2R ファミリーに属している。、組織特異性: 舌および口蓋上皮の味覚受容体細胞のサブセットおよびガストデューシン陽性細胞にのみ発現している。、

## 研究分野

味覚伝達;

## 画像データ



PC12 細胞溶解液のウエスタンブロット分析、TA2R9 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩